

作成日 2022年4月26日
改訂日 2024年10月25日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	滅菌済 過酸化水素水スプレー
製品コード	SBT34HK6IRJ
供給者の会社名称	株式会社三ツワフロンテック
住所	〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋三丁目6番24号
担当部門	購買課
電話番号	06-6351-6140
電子メールアドレス	info@mitsuwa.co.jp
推奨用途	医薬品等の理化学業界の工場・研究所における 床、壁、天井、作業台、機器類などの清掃用途
使用上の制限	推奨用途以外の使用は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	皮膚腐食性／刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1 発がん性 区分2 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2（呼吸器） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（呼吸器）
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。
GHSラベル要素 絵表示またはシンボル	



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 H318 重篤な眼の損傷 H351 発がんのおそれの疑い H371 臓器の障害のおそれ（呼吸器） H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器） H401 水生生物に毒性
注意書き 安全対策	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 汚染された衣類を脱ぐこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 施錠して保管すること。
 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

化学物質名	官報公示整理番号		CAS No.	濃度又は濃度範囲
	化審法	安衛法		
過酸化水素	(1)-419	既存	7722-84-1	≤6.5%
水	対象外（天然物）	既存	7732-18-5	≥93.5%

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。
 呼吸の有無を確認し、必要であれば人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

症状が続く場合には、医師に連絡すること。
 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
 すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。

眼に入った場合

症状が続く場合には、医師に連絡すること。
 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。直ちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護に必要な
注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水スプレー（水噴霧）、泡、粉末消火剤

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

水を噴射して容器類を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具
及び予防措置

空気式呼吸器（SCBA）、眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び
緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

風上から作業して、風下の人を待避させる。
 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥した土や砂に吸収させる。密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策	環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。 漏出物を回収する。
----------	--

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	活性物質、他の過酸化物との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	容器を転倒・落下・衝撃又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
接触回避	
保管	
安全な保管条件	直射日光、紫外線照射を避け、換気の良い涼しい（少なくとも49℃以下）場所に密閉して保管する。凍結させない。
安全な容器包装材料	施錠して保管すること。 データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

化学物質名	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値）	
		日本産業衛生学会 2024年版	ACGIH 2024年版
過酸化水素	未設定	未設定	TWA 1ppm
水	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	八時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
過酸化水素	0.5ppm (2025年10月1日適用)	未設定

設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸用保護具	適切な防塵、防毒マスク
手の保護具	不浸透性保護手袋（ゴム手袋）
眼、顔面の保護具	側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡）
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣。必要に応じて、不浸透性保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	微臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし

pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に混和
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	>1 (比重)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では安定
化学的安定性	通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	通常の処理ではなし。
避けるべき条件	高温、直射日光、発火源、火災、0℃以下の冷凍
混触危険物質	水と反応しやすい物質
危険有害な分解生成物	燃焼時に有毒ガスが発生

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	区分に該当しない NITEは、過酸化水素70%溶液のラットのLD ₅₀ =805mg/kgより区分4に分類している。 製品はATEに基づく判定で区分に該当しないに分類した。
経皮	区分に該当しない NITEは、過酸化水素90%溶液のウサギのLD ₅₀ 値=690mg/kgより区分3に分類している。 製品はATEに基づく判定で区分に該当しないに分類した。
吸入(気体)	分類対象外 GHSの定義における液体である。
吸入(蒸気)	区分に該当しない NITEは、過酸化水素の蒸気を用いたラットのLC ₅₀ (4時間) =2,000mg/m ³ (=1,438 ppmV)より区分3に分類している。 製品はATEに基づく判定で区分に該当しないに分類した。
吸入(粉じん、ミスト)	区分に該当しない NITEは、過酸化水素90%溶液のエアロゾルを、マウスに13,200mg/m ³ を10分間ばく露 (4時間換算値:0.55mg/L)、11,800mg/m ³ を15分間ばく露 (4時間換算値:0.74 mg/L) した結果、いずれも10匹中5匹死亡したとの報告、マウスの2時間ばく露でのLC ₅₀ =920-2,000mg/m ³ (4時間換算値:0.46-1.00mg/L) との報告より、区分2及び区分3に同数ずつ該当するので、LC ₅₀ 値の最小値がある区分を採用し、区分2に分類している。 製品はATEに基づく判定で区分に該当しないに分類した。
皮膚腐食性／刺激性	区分1 NITEは、過酸化水素の試験結果及びECHA CLP分類を参考に区分1に分類している。 製品は、区分1の成分を5%以上含有するため、区分1に分類した。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1 NITEは、過酸化水素が動物で重度の刺激性を有し、腐食性物質であるとの情報により、区分1に分類している。 製品は、区分1の成分を3%以上含有するため、区分1に分類した。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない
皮膚感作性	データに十分な証拠がないため分類できない
生殖細胞変異原性	データに、in vivoとin vitroでの試験結果に整合がないため分類できない
発がん性	区分2 NITEは、過酸化水素がACGIH (7th, 2001) でA3に分類されていることより、区分2に分類している。 製品は、区分2の成分を1%以上含有するため、区分2に分類した。
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分2 (呼吸器) NITEは、過酸化水素を区分1 (呼吸器) に分類している。 製品は、区分1の成分を1-10%含有するため、区分2 (呼吸器) に分類した。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器） NITEは、過酸化水素を区分1（呼吸器）に分類している。 製品は、区分1の成分を1-10%含有するため、区分2（呼吸器）に分類した。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分2 NITEは、過酸化水素を藻類による72時間EC ₅₀ =0.85mg/Lより、区分1に分類している。 製品は、成分の加算に基づいて、区分2に分類した。
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない NITEは、過酸化水素を、各報告より区分に該当しないに分類している。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	本成分はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	非該当

1 5. 適用法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	劇物（過酸化水素を含有する製剤。ただし、過酸化水素六%以下を含有するものを除く。）
化学物質排出把握管理促進法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物（法第57条） 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2） 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項） 酸化性の物
水質汚濁防止法	指定物質 過酸化水素

1 6. その他の情報

連絡先	株式会社三ツワフロンテック
-----	---------------

引用文献

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

GHS対応ガイドライン 2019年6月（一般社団法人 日本化学工業協会）

NITE

メーカーSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見及び試験等により改正される事があります。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。全ての化学製品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。